

なんたる江戸の絵かきでも 平岡のソレ
 柚子の木や 絵にはかけまい
 ドッコイ柚子の木や 絵にはかけまい
 (「甲州盆唄」『櫛形町誌』より)

平岡はゆずの名産地。
 なので、高尾の夜祭といえば「柚子」が名物なのです・・・

かつて根方に暮らす人々は、柚子の実が黄色く色づくとき、
 そろそろ高尾の夜祭も近づいたなあと感じたらしいですよ・・・

ゆず・・・

柚子湯に入ると風邪をひかないといわれていますよね・・・

冬至に柚子湯に入るようになったのは江戸時代の頃から。
 江戸の銭湯がはじまりとの説も・・・

なんだか 冬至が楽しみになってきました・・・



柚子といえば・・・平岡 なんたる江戸の絵かきでも 絵にはかけまい

なんたる江戸の絵かきでも 平岡のソレ
 柚子の木や(香) 絵にはかけまい

右の歌詞は「甲州盆唄」にある二節で、古くから甲府盆地周辺で歌われていたものです。山梨を代表する名産や風物詩がうたわれています。

つまり、平岡の柚子は山梨を代表する名産であり、ブランドだったことがわかります。今では富士川町の穂積地区の柚子が有名ですが、かつては平岡だったのです。平岡周辺にわずかに残る柚子の木にその面影を感じることもできます。

甲州盆唄は古くから歌われていた唄で、昭和三十三年に楽譜が作られますが、もともと仏教的なものから子守唄へ、さらに盆踊り唄へと変化しながら伝わったもので、色々な伝わり方があるようです。一説には「柚子の木や」というのは「柚子の香」のことで、平岡の柚子のすぐれた香気を表したとも言われています。

誰もが知っていた平岡の柚子。歴史が裏付ける、うちのまちの資源といえます。

もう師走です。せわしない日々を過ごされている方も少なくないと思いますが、たまには冷えた体をゆず湯で温めて、ゆつくりとくつろぐ時間があると良いですね。



写真はいずれも平岡の柚子

参考文献：『櫛形町誌』、『山梨百科事典』

甲州盆唄 訳登初義 採譜採歌

なんたるえど- えかきでも ひら-おかのソレ ゆずのきええには-
 かけまい- ドッコイ ゆずのきええには かけえま-い

(櫛形町誌より)